

2 戦後の朝鮮半島 (CP186年)

- 1945. 8 米ソによる南北分割占領(北緯38度線を境界)
- . 9 建国準備委員会, 朝鮮人民共和国成立を宣言
- 1948. 8 **大韓民国**成立 . 9 **朝鮮民主主義人民共和国**成立
- 李承晩 (大統領1948~60)
- 1950. 6 朝鮮戦争(~53) (CP218年) 金日成 (首相1948~72) (主席1972~94)
- 1960. 4 四月革命(大韓民国革命)
- 1961. 5 **大韓民国軍部クーデタ** (大統領1963~79) **朴正熙**
- 1965. 6 日韓基本条約
- 1973. 8 金大中事件
- 1979. 10 **朴大統領暗殺** (大統領1979~80) **崔圭夏**
- 1980. 5 光州事件 (大統領1980~88) **全斗煥**
- 1983. 9 大韓航空機撃墜事件 (大統領1988~93) **盧泰愚**
- 1990. 9 **韓国国交樹立**
- 1991. 9 南北朝鮮, 国連に同時加盟
- 1992. 8 **中韓国交正常化** (大統領1993~98) **金泳三**
- 1994. 10 核問題で米朝合意 (大統領1998~) **金大中**
- 1998. 9 国防委員長就任 **金正日**



朴正熙



金大中

ソウルオリンピック(1988年) 国際的地位を高めた韓国は, 1991年北朝鮮と共に国連への同時加盟が認められた。



金・金会談(2000年6月) 南北分断後初の首脳会談。経済交流や連合・連邦制による統一への動きが期待される。



3 戦後のインド (CP2074年)

- 1946 ボンベイの水兵反乱
- 英首相アトリーによるインド独立承認宣言
- 1947 **インド連邦**・**パキスタン**の分離独立 (英連邦内の自治領)カシミール帰属問題おこる
- 1948 マハトマ=ガンディー暗殺 **セイロン**独立(英連邦内の自治領) (1972「スリランカ」と改称) シンハラ人(仏教徒)とタミル人(ヒンドゥー教徒)の対立激化
- 1950 **インド(連邦共和国)**成立, インド憲法施行
- ネルー首相** (任1947~64)
- 1954 ネルー, コロンボ会議でアジア・アフリカ会議を提唱
- ネルー, 周恩来とともに「平和五原則」発表
- 1955 ネルー, **アジア・アフリカ会議**を主導
- 1959 チベット反乱によるダライ=ラマ14世のインド亡命
- 中印国境紛争**起こる(~62)
- 1961 ネルー, 第1回非同盟諸国首脳会議を主導
- 1965 パキスタンとカシミール戦争
- インディラ=ガンディー首相** (任1966~77)
- 1971 インド・パキスタン戦争 **バングラデシュ人民共和国**独立
- 1974 核実験の成功
- 1977 総選挙で国会議院大敗
- デサイ政権成立(人民党)
- 1980 インディラ=ガンディー政権の復活
- 1984 シク教徒過激派の黄金寺院占拠事件
- インディラ=ガンディー暗殺(シク教徒による)
- ラジブ=ガンディー政権成立
- 1991 ラジブ=ガンディー暗殺(タミル人による)
- 1992 ヒンドゥー教徒, イスラム寺院破壊
- 1993 パキスタン, ブット(人民党)内閣成立

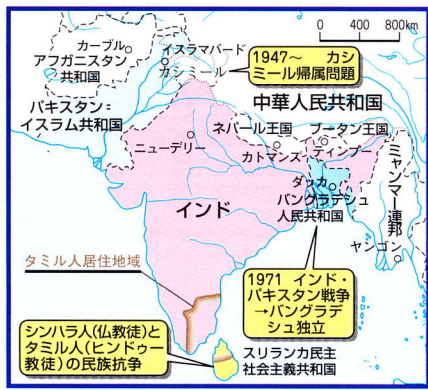
暗殺された3人のガンディー — インドの民族・宗教問題 —

宗教的対立に起因するテロが多発したインドでは, インド独立の父マハトマ=ガンディー(1948 熱心なヒンドゥー教徒により), 初代首相ネルーの娘**インディラ=ガンディー**(1984), インディラの息子**ラジブ=ガンディー**(1991)など国家の要人がその犠牲となった。

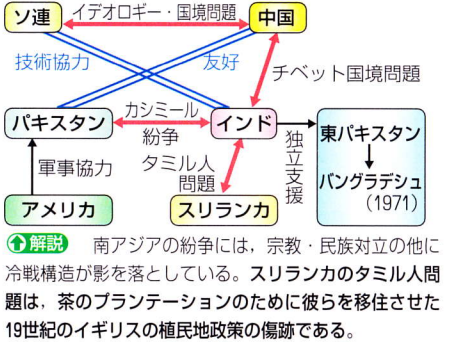
マハトマ=ガンディーの葬儀



A 南アジア諸国の分離・紛争



B 紛争の国際的背景



公用語が列記された50ルピー紙幣 総言語数1330, 公用語だけでも15(現在は18)にのぼるインドの言語の多さは, 政治運営の難しさを物語っている。

4 戦後の東南アジア (CP2076年)

- 平和的独立
- フィリピン(1946 米との約束)
- ビルマ(1948 英との対話)
- 独立闘争
- ヴェトナム(仏とのインドシナ戦争 1946~54)
- インドネシア(オランダとの戦闘 1945~49)
- 中立政策 (例)インドネシア(スカルノ)
- ビルマ(ウ=スー)
- 米との同盟 (例)フィリピン, タイ
- ジュネーブ協定(1954)
- インドシナ休戦
- 1955 **アジア・アフリカ会議** 1954 **SEATO** (植民地主義の排斥) (反共組織)
- 政治危機 ← 平和共存で一次産品の価格下落 (例)タイ, 軍事クーデタ(1957)
- インドネシア, スカルノ独裁(1957頃~)
- ビルマ, ネ=ウィンのクーデタ(1962)
- 親米資本主義国の経済発展
- マレーシア・タイ・フィリピン
- シンガポールの独立(1965)
- ヴェトナム・カンボジア難民の大量発生
- その他
- ビルマの鎖国政策と経済停滞
- インドネシアの九・三〇事件(1965)
- スカルノ失脚 → スハルト親米政権
- 1970年代後半
- ヴェトナム戦争終結(1975) 石油危機(1973)
- 一次産品の価格上昇
- ASEAN(1967結成) 諸国の成長
- シンガポールの発展(NIESの1つ)

シンガポールの歴史

華人が政治・経済の中核を握るシンガポールは, マレーシア連邦のマレー人優遇政策への反発と, インドネシア・スカルノ政権の支持を背景に1965年リー=クアンユーの指導 **リー=クアンユー**で分離独立した。 **前首相**(任1965~90)

14世紀 マレー人が王国を建設

1511 マラッカ王国, ポルトガル人に占領される → 王族がジョホールに小王国を建設

1819 ジョホール王, シンガポールを英に割譲

1830年代~ 華僑の本格的流入

1867 海峡植民地の一部として英の直轄化

1942 日本の占領

1963 マレーシア連邦(マラヤ連邦が中心)に統合

1965 マレーシア連邦からの分離独立



初代首相ネルーの娘 インディラ=ガンディー